

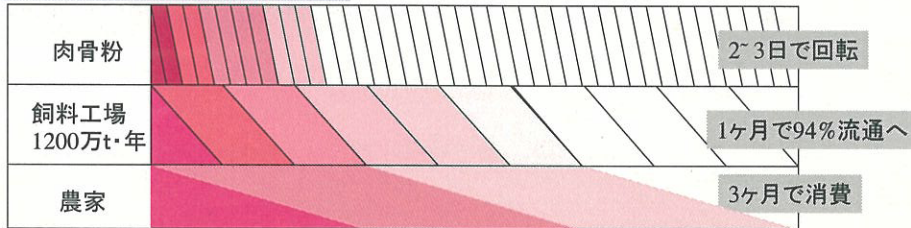
## これまでの検査結果等の検証

### 肉骨粉分析法

分析法	顕微鏡検査	ELISA(追加法)	PCR法
検出対象	肉骨粉(獣骨)	動物由来タンパク質	動物由来DNA
適用範囲	配合飼料、単体飼料	配合飼料、単体飼料	配合飼料、単体飼料
識別範囲	魚骨と獣骨	動物種(牛、豚、鶏)	動物種(哺乳動物すべて、鳥類)
検出感度(含有量)	0.1~0.3%	0.1%	0.01~0.1%
組織特異性	高い	中程度	ない
種特異性	ない~低い	中程度	高い
加熱の影響	少ない	影響をうける	影響を受ける

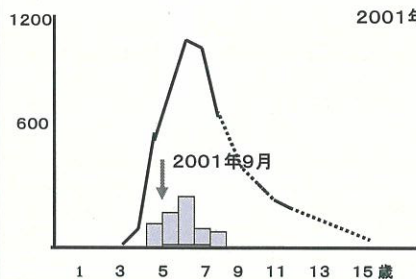
飼料工場での混入検査結果	承認飼料工場	その他の飼料工場	検査方法
2001年2月~2002年5月(ガイドライン前)	0/73	0/9	顕微鏡
2002年6月~2004年3月	0/794	0/126	顕微鏡、PCR、ELISA

### 肉骨粉・飼料の製造、在庫、消費期間



## 検証に基づく予測(日本の汚染規模)

年齢別BSE陽性牛  
英国・EUモデル  
2001・2002年  
(総計4262頭)



年齢(歳)	と畜検査陽性頭数	異常・死亡牛の陽性推計
2歳以下	(2)	
3		
4		(1)
5	3 (1)	12
6	4	16
7	1 3	1 15
8	1 1	8
9	2	8
10歳以上	2	8

赤字は確認されたBSE検査陽性頭数  
( )は95,96年以外の汚染

BSE牛は異常・死亡牛で健康と畜牛の4倍  
黒数字は、今後BSE検査で確認が予想される頭数

年齢	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳以上
頭数	4	13	161	579	1125	1022	1346
%	0	0.3	3.8	13.6	26.4	24.0	31.6

英国・EUモデル